



(2005/9/25)

# 海外

## ペルー大会へ協力要請

### 各支部から 22人出席 WUB理事会開催

#### ハワイ

WUBインターナショナル理事会がこのほどハワイのマウイ島で開催された。理事会には、WUB創設者の仲宗根ロバート顧問をはじめ、呉屋守将WUBインターナショナル顧問、与那嶺真次会長、さらに南米や米国、日本の支部代表ら二十二人が出席した。

一九九七年に創設されたWUBは現在二十一支部までに膨れ上がり、その成長ぶりがうかがえる。

理事会では、司会役の知花良治ブラジル支部・会長による各支部代表の紹介が始まり、このあと与那嶺会長が遠方から参加した出席者へお礼の

言葉を述べた。また仲宗根顧問、呉屋顧問からは、次期開催地ペルーでめられた。来年一月は



ハワイで開かれたWUBインターナショナル理事会に出席した各支部代表＝マウイ島マウイビーチホテル

南米ペルーの大地に最初のウチナンチュ三十三人が第一歩を記してから、ちょうど百年という大きな節目を迎える。ペルー沖縄県人会は移住百周年、県人会創立九十五周年記念祝典を開催することになっており、WUBインターナショナルでは移住祝典に続きWUB世界大会をペルーで開催することを、既に先の第九回WUB世界大会関西2005で決定している。今回のマウイでの理事会では、大会に向けての進捗よく状況がペルー支部から報告された。

このほか、各支部から本年度の活動状況が報告され、特にロサンゼルス支部からは「海から豚がやって来た」公演の成果が報告され、大きな関心を集めた。先の関西大会で提案されたホームページの作成、ユニホ

(赤嶺光弘ペルー通信員)